

# 真名川ダム定期報告書(案)

平成 26 年 3 月

国土交通省近畿地方整備局



# 真名川ダム定期報告書(案) 目次

1. 事業の概要	
1.1 流域の概要	1-1
1.1.1 自然環境	1-1
1.1.2 社会環境	1-9
1.1.3 治水と利水の歴史	1-12
1.2 ダム建設事業の概要	1-17
1.2.1 ダム事業の経緯	1-17
1.2.2 事業の目的	1-20
1.2.3 施設の概要	1-21
1.3 管理事業の概要	1-24
1.3.1 ダム及び貯水池の管理	1-24
1.3.2 ダム湖の利用実態	1-30
1.3.3 下流基準点における流況	1-31
1.4 ダム管理体制等の概況	1-32
1.4.1 日常の管理	1-32
1.4.2 出水時の管理計画	1-43
1.4.3 大規模災害に対する管理	1-46
1.5 文献リスト	1-47
2. 洪水調節	
2.1 評価方針	2-1
2.1.1 評価方針	2-1
2.1.2 評価手順	2-1
2.2 浸水想定区域の状況	2-3
2.2.1 浸水想定区域の状況（真名川ダム）	2-3
2.2.2 浸水想定区域の状況（九頭竜川水系）	2-4
2.3 洪水調節の状況	2-7
2.3.1 洪水調節計画	2-7
2.3.2 洪水調節実績	2-9
2.3.3 洪水時の対応	2-11
2.4 洪水調節の効果	2-12
2.4.1 流量、水位低減効果の評価方法	2-12
2.4.2 流量低減効果	2-12

2.4.3	水位低減効果	2-14
2.4.4	水防活動の低減効果	2-16
2.4.5	副次効果（流木等流出抑制効果）	2-18
2.5	まとめ	2-27
2.6	文献リスト	2-27
3. 利水補給		
3.1	評価の進め方	3-1
3.1.1	評価方針	3-1
3.1.2	評価手順	3-1
3.1.3	資料の収集・整理	3-1
3.2	利水補給計画	3-2
3.2.1	貯水池運用計画	3-2
3.2.2	利水補給計画の概要	3-3
3.3	利水補給実績	3-6
3.3.1	利水補給実績概要	3-6
3.3.2	発電実績	3-8
3.4	ダムの水環境改善事業	3-9
3.5	利水補給効果の評価	3-10
3.5.1	不特定用水補給による評価	3-10
3.5.2	発電量	3-11
3.5.3	副次効果（CO2 排出量削減効果）	3-14
3.5.4	温暖化による流出形態への影響	3-16
3.6	まとめ	3-23
3.7	文献リスト	3-23
4. 堆 砂		
4.1	堆砂測量方法の整理	4-1
4.1.1	測量方法	4-1
4.1.2	測線位置図	4-1
4.2	堆砂測量方法の整理	4-2
4.3	堆砂実績の整理	4-4
4.4	堆砂傾向の評価	4-6
4.5	まとめ	4-8
4.6	文献リスト	4-8
5. 水 質		
5.1	評価の進め方	5-1
5.1.1	評価方針	5-1

5.1.2	評価手順	5-2
5.1.3	真名川ダム貯水池の水質に係わる外的要因	5-4
5.2	基本事項の整理	5-7
5.2.1	環境基準類型指定状況の整理	5-7
5.2.2	定期水質調査地点と対象とする水質項目	5-9
5.2.3	定期水質調査状況の整理	5-11
5.3	水質状況の整理	5-14
5.3.1	水理・水文・気象特性	5-14
5.3.2	水質の経年変化	5-22
5.3.3	水質の経月変化	5-40
5.3.4	貯水池内水質の鉛直分布の変化	5-92
5.3.5	栄養塩の構成形態別変化	5-96
5.3.6	植物プランクトン生息状況変化	5-99
5.3.7	底質の変化	5-100
5.3.8	水質障害発生状況	5-104
5.4	社会環境からみた汚濁源の整理	5-106
5.4.1	流域社会環境の整理	5-106
5.4.2	流入水質の変化	5-109
5.4.3	社会環境から見た汚濁源の整理まとめ	5-114
5.5	水質の評価	5-115
5.5.1	流入及び放流河川の評価(生活環境項目)	5-115
5.5.2	健康項目の評価	5-127
5.5.3	水温の変化に関する評価	5-130
5.5.4	土砂による水の濁りに関する評価	5-134
5.5.5	富栄養化現象に関する評価	5-148
5.5.6	DOに関する評価	5-157
5.5.7	水質縦断変化による貯水池の影響評価	5-159
5.6	水質保全施設の評価	5-163
5.6.1	水質保全施設の導入背景と導入計画	5-163
5.6.2	水質保全施設の設置状況の整理	5-164
5.6.3	水質保全施設の効果把握と評価	5-167
5.7	まとめ	5-169
5.8	文献リスト	5-171
6.	生物	
6.1	評価の進め方	6-1
6.1.1	評価の進め方	6-1
6.1.2	対象範囲	6-4
6.2	資料の収集	6-7

6.2.1	生物調査実施状況の整理	6-7
6.2.2	各生物の調査実施状況	6-9
6.2.3	ダム湖及びその周辺の環境の把握	6-31
6.2.4	ダム湖及びその周辺の生物の特徴	6-35
6.3	生物の生息・生育状況の変化の検証	6-61
6.3.1	ダム湖内における変化の検証	6-63
6.3.2	流入河川における変化の検証	6-87
6.3.3	下流河川における変化の検証	6-110
6.3.4	ダム湖周辺における変化の検証	6-129
6.3.5	連続性の観点からみた生物の生息・生育状況の変化の検証	6-160
6.3.6	重要種の生息・生育状況の変化の検証	6-164
6.4	環境保全対策の効果の検討	6-178
6.4.1	ダムの弾力的管理試験	6-178
6.5	生物の生育・生息状況の変化の評価	6-194
6.6	生物のまとめ	6-205
6.6.1	まとめ	6-205
6.6.2	今後の方針	6-208
6.7	文献リストの作成	6-209
7.	水源地域動態	
7.1	流域の概要	7-1
7.1.1	水源地域の概要	7-1
7.1.2	ダムの立地条件	7-2
7.2	ダム事業と地域社会情勢の変遷	7-4
7.3	ダムと地域の関わりに関する評価	7-9
7.3.1	地域におけるダムの位置づけに関する整理	7-9
7.3.2	地域とダムとの関わり	7-13
7.4	ダム周辺の状況	7-16
7.4.1	ダム周辺整備の状況	7-16
7.4.2	大野市によるダム貯水池周辺整備	7-18
7.4.3	ダム周辺施設の利用状況	7-19
7.4.4	ダムおよびダム周辺のイベント等の開催状況	7-20
7.5	河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果	7-21
7.6	まとめ	7-22
7.7	文献リスト	7-23